

# みらいエコリフォームセンター 10月号VOL.34 東雲だより

竜巻や台風、それに黄砂まで。  
今年の異常気象には驚かされます。  
おからだ、ご自愛ください。



## 今月のトピックス

### 26年度国の概算要求特集

- ①9月研修会および見学会報告
- ②「26年度国交省、経産省重点施策」
- ③荒尾先生寄稿「設計と設備工事12」
- ④ラボ紹介「都立城南職業能力開発センター」



SFAのポンプを使ったベッ  
トサイドトイレを提案展示  
しました。  
洗浄等、稼働できます。

## 9月研修および見学報告



配管技能研修



配管技能研修



エアコン施工研修



建築設備診断

9月研修会及び見学会の実績をご報告します

- 9/3 エアコン施工研修（事務局企画研修）
- 9/4 日科技連様東雲見学会
- 9/11 UB現調研修【事務局企画研修】
- 9/12 給排水研究会主催配管技能講習
- 9/13 給排水研究会主催配管技能講習
- 9/17 積水ファミエス様見学会
- 9/18 生活協同組合消費者住宅センター様見学会
- 9/19 前沢化成様東雲見学会
- 9/20 給排水研究会主催配管技能講習
- 9/26 JAFIA建築設備診断セミナー

# 国の26年度概算要求と重点施策

## 【国土交通省住宅局】

### 1. 国民の安全・安心の確保

#### (1) 安全な住まい・まちづくり

- ① **住宅・建築物の耐震改修・建替え等安全性向上への支援**
  - ② 大規模災害時に拠点となる施設の整備促進
  - ③ 密集市街地の改善整備の促進など市街地の防災力の向上
  - ④ 空き家対策の推進による居住環境の改善
  - ⑤ 公的住宅ストックの長寿命化への支援
  - ⑥ 老朽化マンションの建替え等の促進
- #### (2) 東日本大震災からの復興加速
- ① 災害公営住宅の整備
  - ② 自力再建の支援
  - ③ 災害に強い地域づくり

### 2. 地域の活性化と豊かな暮らしの実現

- ① **スマートウェルネス住宅の実現に向けた支援**
- ② 既存住宅団地の福祉拠点化の推進
- ③ 医療・商業等の都市機能の立地誘導等支援の強化
- ④ **住宅・建築物の環境対策の推進**
- ⑤ 地域における木造住宅・建築物の生産体制強化
- ⑥ 公営住宅を中心とした住宅セーフティネットの確立

### 3. 中古住宅流通・リフォーム促進等の住宅市場活性化

- ① 長期優良化リフォームへの支援
- ② 住宅ストック活用のための市場環境整備
- ③ 住宅金融支援機構による優良な住宅取得の支援
- ④ 消費税率引上げに伴うすまい給付金の実施



## 【経済産業省資源エネルギー庁-関連】

### 1. 「エネルギー最先進国」の実現

#### 【生産段階】

- (1) **再生可能エネルギーの最大限の導入**
- (2) 原子力発電の安全基盤の構築
- (3) 高効率火力発電の開発・活用加速化
- (4) 資源・エネルギーの安定的かつ低廉な供給の確保

#### 【流通段階】

#### 【消費段階】

- ・産業部門における省エネ・ピーク対策投資の大幅加速化
- ・家庭・オフィス、運輸部門での省エネルギー対策の強化

「**住宅・建築物の省エネ・蓄電池等ピーク対策の推進**」、「次世代自動車の普及支援」等  
「**家庭用燃料電池（エネファーム）の導入拡大**」、「水素ステーションの整備」等  
「**マンションのスマート化の推進**」等

### 2. エネルギー・環境産業の競争力の維持・強化

### 3. 福島第一原子力発電所の廃炉に向けた取組・原子力の安全基盤の構築

## 燃料電池自動車



## 設計と設備工事12「室外設備基礎と建物の基礎を考える 2」

一級建築士 荒尾 博

認定低炭素住宅の義務化で設備特に新しい省エネタイプの給湯機がどんどん登場してきます。その結果、室外機の基礎への考え方も変わります。

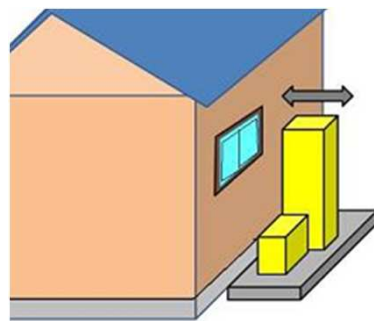
### 1.大きくなって壁掛けはなくなり？

最近まで給湯機は小型化が進み、壁掛けタイプが主流とも言えました。しかし、これらの給湯機の原理は極端に言えば昔からの裸火で温めるタイプでした。しかし、低炭素法施行による認定低炭素住宅が義務化される2020年には、従来の給湯機は使われなくなるのです。なぜなら、認定低炭素住宅全体の省エネ化は、平成24年の標準的な機器を10%カットする目標なのですが、エネルギーを消費する一番の機器が給湯機で、単純に言えば20%以上カットしなければならない重要な使命を負っているのです。

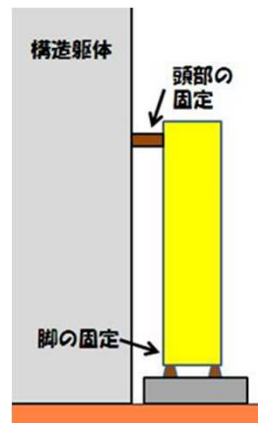
しかも、単純な従来型の給湯機では対応できないのです。その結果登場したのが「エネ○×○×」とカタカナの名称の機器たちです。これらの機器についてはのちのち紹介していくとして、今言えることは、その機器の大きさも重さも大きくなっていることです。そして、もはや外壁に取り付けられる機器は皆無になり、従来のようなブロックなどを置くだけの設置も皆無になるということです。



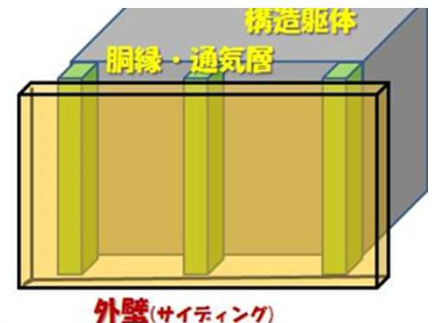
画1 壁掛給湯湯沸器



画2 高効率給湯機と住宅



画3 機器固定



画4 外壁通気層

### 2.固定方法に一言

画3は高効率給湯機の設置イメージですが、室外機器は背が高い機種の場合があり、従来のような置くだけの設置は元より難しく、地震時に倒壊しない対策も講じなくてはならないようです。事実、東日本大震災では多くのこの種の給湯機室外機が固定されていなかったり、固定方法に難があり倒壊したと聞いています。その事例では画4の脚アンカーの固定が甘かったりもあったのですが背の高さから脚の固定だけでは持たず、頭部の固定が必要だったのにされていなかったことの原因のようです。

ここで注意ですが、頭部の固定は構造躯体の外壁で行われるのですが、この外壁がサイディングの場合、通気工法と言って裏面に空気層があり胴縁などで留めなければ固定したことになりません。本来ならば事前に打ち合わせをして固定部分の外壁に補強材を入れておく必要があるのです。

さらに、サイディングの場合、基本的に留め金具で固定してはいけないとマニュアルに書いてあることが多く、防振ゴムなど挟まないと給湯機の振動で外壁材が割れることがあり、割れた場合損害賠償を請求されることも可能性としてあることに注意が必要です。



東京都立城南職業開発センターに行ってきました。都立職業能力開発センターは、求職者・転職者および在職者向けの職業訓練を行うとともに、地域の中小企業の人材育成や人材確保の支援を行っています。

都内には4つのブロックごとにセンターがあり、ブロック内に数か所の訓練校があります。城南センターでは、配管科のほかに14の定期科目があり期間は6か月から1年間です。また在職者のためのキャリアアップ講習も行っております。写真は配管科の講習風景です。

東京都品川区東品川3-31-16  
TEL 03-3472-3411



## “東雲だより10月号”編集後記 ☆ドルチェ☆ — 青空の下での美術の時間—

先日、足立区民まつりに行って来ました。正確には、河川敷に行ったらたまたま開催されていたのですが、一般的に知られている祭とは違って、健康に生活するために区が取り組んでいる「減塩活動」や、「乳がん検診を受けよう」のブースや、足立区にアートをもちいた新たなコミュニケーション「音まち」のブースだったりがたくさん出ている、大人から子供までが遊びながら勉強のできる楽しい催し物でした。

そこに、日本で唯一のセルロイド人形職人、足立区在住の平井英一さんのブースがあって、「招き猫」の絵付け体験ができるということで、私も友人と参加してみました！白い小さな招き猫にアクリル絵の具で色付けして行くのですが、お手本は無く好きなように色付けして良いとあって、みんな真剣になって取り組んでいました。

ジャジャン！こちらが私たちの作品です。土台は同じでも全く違う招き猫に仕上がってオモシロイです。私のは、一応ミュージカル「キャッツ」をイメージした顔なのですが、体とミスマッチな気が・・・(笑)それでも、なかなか大人になると、美術や工作に親しむことがないので、楽しいひと時となりました。



左：私作 右：友人作



(株)橋本総業 佐藤深雪

お問い合わせは

# みらいエコリフォームセンター

〒135-0062 東京都江東区東雲2-9-7 東京配送センター内  
TEL.03-3527-5900<代> 営業日▶月～金9:00～17:00 土：応相談

●お問い合わせは

TEL.03-3527-5628 FAX.03-3527-6070

